

キーワード	発言内容（他の委員の意見）	市の見解・対応
団体間の連携 地域コミュニティ	<p>各種団体間の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区体協の役員（現場の担当者）は事業の多さと人手不足で疲弊している。 ・校区体協と市体協との連携 ・まち協・公民館との連携 <p>地域コミュニティの活性化にスポーツを生かしていくということだが、資料にあるように「イベント」を軸に進めていきたいのか</p> <p>体協やスポーツ推進委員が同じことを別々に行っている現状を整理して一つにしていくことはコミュニティづくりにつながるのでは</p> <p>スポーツにかかわる人はたくさんいるけどバラバラ。そこを整理していく作業が重要かと</p>	<p>市の見解・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、市体協と校区体協との意見交換の場の設定を検討する ・まち協や自治会協議会との連携についても研究する【計画への反映】 <p>「地域のスポーツ活動の推進」の中で表現を考えたい</p> <p>団体同士が連携協力しなければならない。まち協や自治会、公民館との連携は取りやすくなったが、教育委員会・学校との連携が離れてしまわないよう留意する</p>
総合型 指定管理	<p>総合型と指定管理の関係</p> <p>総合型が施設の指定管理を担えれば、管理だけでなく運営も行え、スポーツ普及の取り組みができるのでは</p>	<p>地域や施設の現状に応じて対応できるか検討していく</p>
地域におけるリーダー育成	<p>「組織力」の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でのリーダーを公民館・自治会などコミュニティで育てることが困難 ・役割分担が曖昧。どこかは共有しているがルールがない ・指導者を育成するプランニング ・組織を引っ張るリーダーカ ・体協には歴史があるので一番妥当な「組織」ではないか ・子供たちがUターンする魅力ある地域にするためにどうするか今後の検討課題としたい 	<p>各団体がどのような役割を担えるのか整理し、検討していく【計画への反映】</p> <p>地域におけるスポーツの「リーダー」の育成で取り組む</p>
スポーツボランティア	<p>スポーツボランティアの登録方法</p> <p>次へつなげる方法はどうするのか</p> <p>障がい者スポーツのボランティアについてはさらなる啓発が必要</p>	<p>桜マラソン・しゃくなげ湖ハーフマラソンでは、前年度ボランティアで参加した人へは、再度案内をしている</p> <p>ボランティアの高齢化が見受けられる一方、高校生のボランティアが増加している。新規開拓の方法について今後検討したい</p> <p>【計画への反映】</p> <p>スポーツを支える人材の養成・支援で取り組む</p>
障がい者スポーツ	<p>障がい者スポーツは、インクルーシブな健常者と障がい者が一緒になってやらないとスポーツ実施率は上がらない</p> <p>発達障害の子にスポーツが楽しいという形で成長させた</p>	<p>市まなざしスポ・レク祭で障がい者の方に参加を呼びかけ参加してもらっている。推進委員を中心に地域で参加の輪を広げていってもらえるよう研修等を実施している</p>
eスポーツ	<p>eスポーツに関する意見の統一を</p> <p>位置づけによって、指標の数値も変わってくる</p> <p>（伊東）eスポーツはスポーツに入れるべきではない</p> <p>（原）日本スポーツ協会がeスポーツの取り扱いについて協議中であり、佐賀県スポーツ協会も日スポ協の回答待ちの状況</p>	<p>国の方針も出ていない。佐賀市としてもeスポーツをスポーツに含めるにはまだ検討が必要だと考えている</p>
SSP 競技力向上	<p>県のSSP構想と連動したバックアップ体制づくりを盛り込んだ視点が必要ではないか</p> <p>（伊東）佐賀市には大きな企業がない。戸上電機くらい。企業に選手を押し込むのは無理がある。行政がその一部を担わないと</p> <p>（原）SSP構想の底辺はアスリートを作るための底辺ではなく、住民スポーツをいかにするかということで捉え、みんなで国スポを盛り上げていこうという形を作った方がいい</p>	<p>SSP構想について、役割分担として県はアスリートを育成する。市（市町）は、市民がスポーツに親しむという裾野を広げるといった役割を担うと考える</p>

キーワード	発言内容（他の委員の意見）	市の見解・対応
部活動 外部指導者	<p>部活動をどうするか真剣に議論すべき 基本は、先生たちが教育の一部として部活を指導するのが理想。総合型・少年団の指導者を学校に指導者として派遣する。中学校の校長先生のリーダーシップを仰ぎながら、もっと力強く進めた方が現場力につながる 地域の人材バンク的なものを作ってはあくまで子供たちが主役。先生ではない。スポーツ振興課も後押しを</p> <p>外部指導者の導入について学校の方針は様々のようだが、学校は外部指導者を導入してもいいと思っているのか</p> <p>外部指導者の部活動への導入は早くから現場の声があったが、学校に外部の人を入れるというのは難しい面があった 部活動は教育の一環であり、子供たちへの指導力があるかは、種目の指導力に長けているだけでなく、その年代への指導の知識があるのかということであり、学校は無責任になってはいけない</p>	<p>学校に専門の教員がなく、地域に指導できる方がいれば（校区に限らず）受け入れている場合もある 部活を教える人材が不足しているおり、指導者としての人材を技術力と人間力の観点から見極め、派遣できる仕組みづくりが必要であり、教育委員会と協議していきたい</p>
生涯スポーツ	<p>30・40代のスポーツ実施率へのアプローチ 実施者が多いウォーキングを会社の中で取り組んでもらうなど楽しんで健康づくりをする仕組みを</p> <p>女性のスポーツ実施率の方がより低いのは、子育てや家事を女性の方が担っているからではないか。男女共同の観点も必要では （高齢者のウォーキング実施時間帯に関連して）子ども達の下校時に買い物に行きましようという取り組みを実施している</p>	<p>【計画への反映】 「ライフステージに応じたスポーツの推進」の中で取り組みたい</p>
スポーツの好循環	<p>スポーツの好循環が競技スポーツの推進に位置しているが、競技スポーツに関連する好循環の事例が掲げられているが、自分のイメージは違うところがある 施設の整備を契機に、旅館組合などと協力して収益を上げて障がい者スポーツ施設建設に役立てるなど、経済面での好循環の創出についての検討を入れていってもいいのではないか （伊東）しゃくなげ湖ハーフマラソンはいい事例なのではないか （原）総合型もいかに収益をあげるかという視点での講習会が予定されている</p>	<p>スポーツの好循環については、複数の施策が関連しあったものであり、次期計画では、競技スポーツの推進のみの取組だけでなく、生涯スポーツの推進の中でも取り組むこととする 経済面については、経済団体等との連携の中で今後の課題としたい</p> <p>【計画への反映】 スポーツによる交流の推進、競技力向上のための支援・連携の中で取り組んでいく</p>
情報発信	<p>市のスポーツ情報の充実において、テレビでの情報提供は</p>	<p>秘書課を通じて市が持っているテレビの枠を利用して告知等を行っている</p>
指導者育成	<p>指導者育成については、公認指導者資格とまで言わなくても、市が主催する講習会に1回は参加し、グループワーク形式で行うことを検討できないか</p>	<p>すでに指導者への講習会は定期的に実施している。引き続き参加してもらえよう啓発していく</p>
施設	<p>フットサル・一輪車等に対応できるよう改修の際に対応してもらいたい</p>	<p>老朽化に伴う施設の改修時に検討したい</p>